

大柱2 安全・安心に暮らせる社会の実現

2-1 生活上様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

指 標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
きまって支給する現金給与額 (男女格差：/男性を100とした場合)	2019年度 69.8%	継続的に 格差縮小	2022年度 71.5%

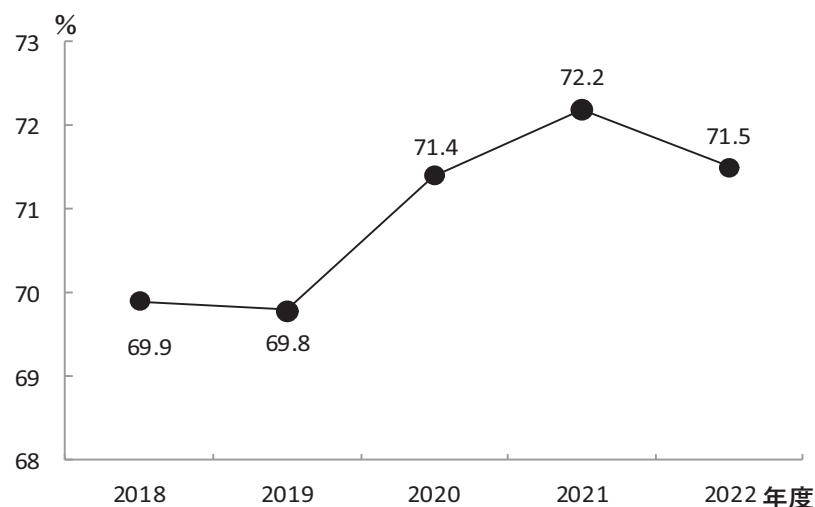
16 きまって支給する現金給与額 (男女格差：/男性を100とした場合)

きまって支給する現金給与額は、男性を100とした場合、女性は71.5%（2022年度）と、依然として隔たりがあります。

(図16)

16 きまって支給する現金給与額(男女格差：/男性を100とした場合)

図16



(資料) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

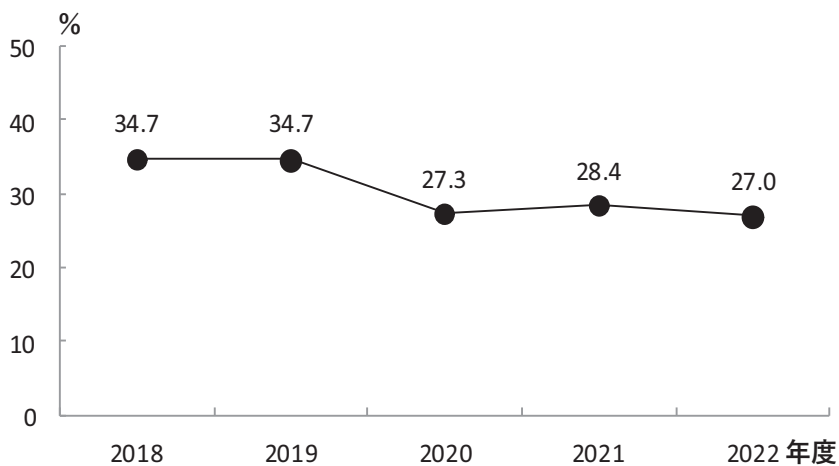
17 ひとり親の年間就職率

ひとり親の年間就職率は27.0%（2022年度）と、前年度より低下しました。

(図17)

17 ひとり親の年間就職率

図17



(資料) 静岡労働局調べ

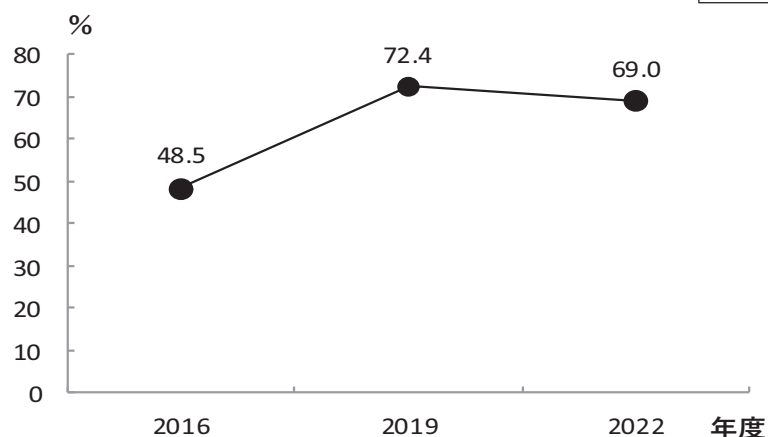
18 社会参加している高齢者の割合

社会参加している高齢者の割合は69.0%（2022年度）と、前回調査から減少しました。

（図18）

18 社会参加している高齢者の割合

図18



（資料）「高齢者の生活と意識に関する調査」

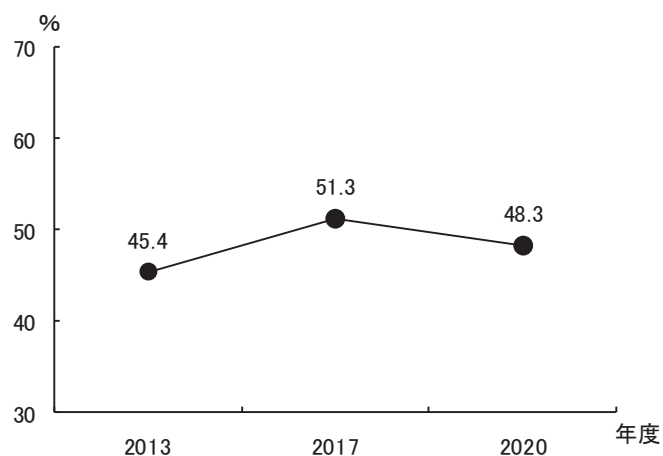
19 自立し社会参加していると感じている障害のある人の割合

自立し社会参加していると感じている障害のある人の割合は48.3%（2020年度）と、前回調査時から減少しました。

（図19）

19 自立し社会参加していると感じている障害のある人の割合

図19



（資料）「障害のある方の実態調査」

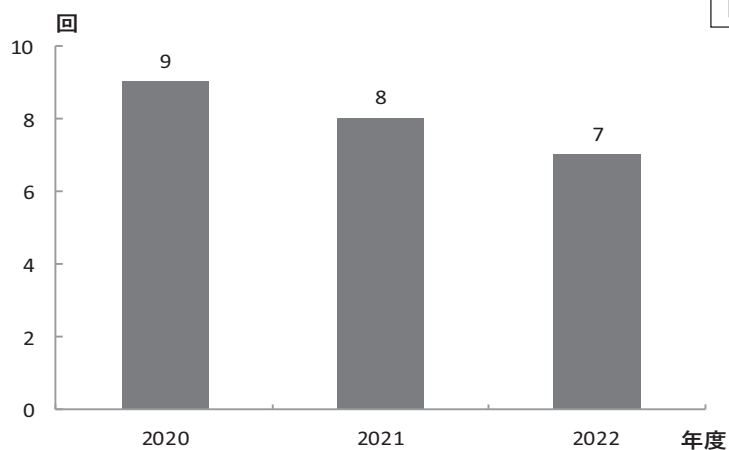
20 かめりあによる出張相談会・専門家による相談会の開催回数

かめりあ（静岡県多文化共生総合相談センター）による出張相談会・専門家による相談会は、7回（2022年度）開催しました。

（図20）

20 かめりあによる出張相談会・専門家による相談会の開催回数

図20



（資料） 県多文化共生課調べ

大柱2 安全・安心に暮らせる社会の実現
2-2 ジェンダーに基づく暴力の根絶

指 標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
精神的な暴力をDVとして認識している人の割合 (夫婦やパートナー間で「他の異性と会話を許さない」という行為をされた場合に暴力として認識している人の割合)	2019年度 76.5%	2025年度 80%	2021年度 79.3%

21 精神的な暴力をDVとして認識している人の割合 (夫婦やパートナー間で「他の異性と会話を許さない」という行為をされた場合に暴力として認識している人の割合)

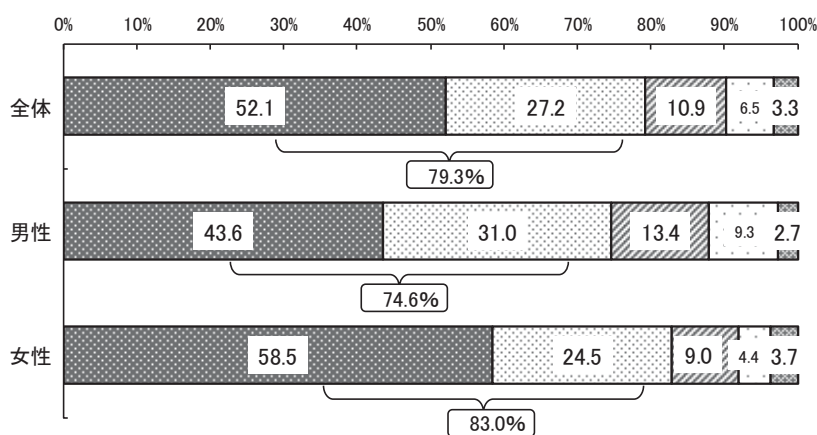
「他の異性と会話を許さない」という行為をされた場合に暴力として認識している人*の割合は79.3%でした。

(図 21)

*「どんな場合でも暴力にあたると思う」と「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」の合計

21 精神的な暴力をDVとして認識している人の割合

図 21



■ どんな場合でも暴力にあたると思う	▨ 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
▩ 暴力にあたるとは思わない	□ その他
■ 無回答	

(資料) 「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査」(2021)

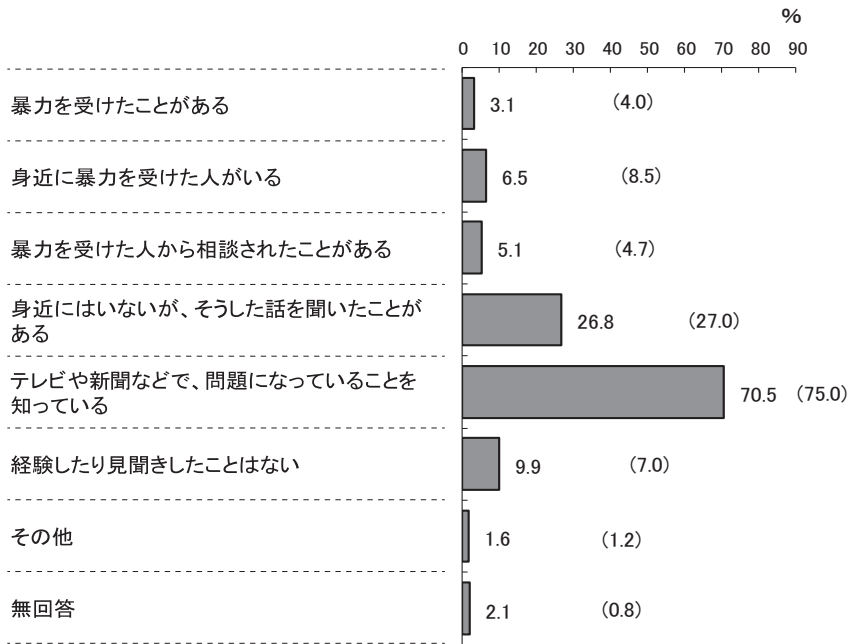
22 過去1年間にDVを受けたことがある人の割合

「暴力を受けたことがある」と答えた人の割合は3.1%と、前回調査時から減少しました。

(図 22)

22 過去1年間にDVを受けたことがある人の割合

図 22



※()内は2019年度調査の数値

(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査」(2021)

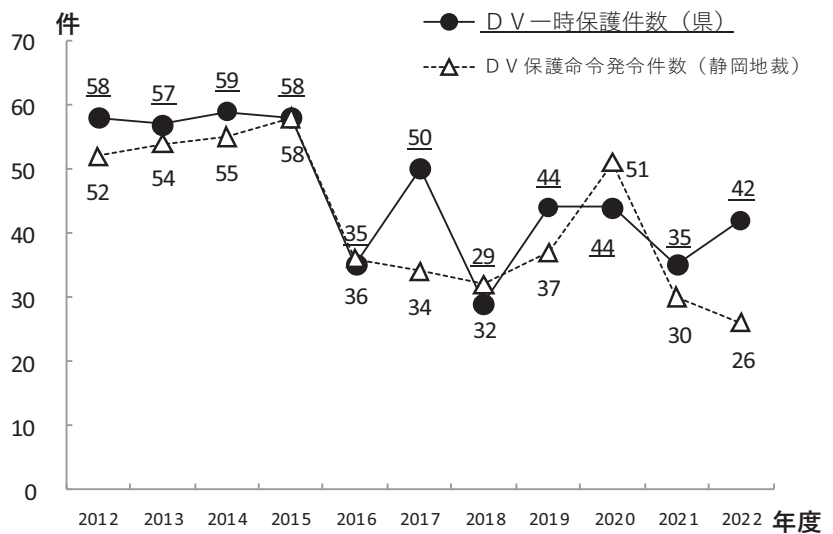
22-① DV被害者の一時保護件数及び保護命令発令件数

DV被害者の一時保護件数及び保護命令発令件数は、42件、26件(ともに2022年度)でした。

(図 22-①)

22-① DV被害者の一時保護件数及び保護命令発令件数

図 22-①



(資料) 県こども家庭課調べ、最高裁判所事務総局民事局調べ

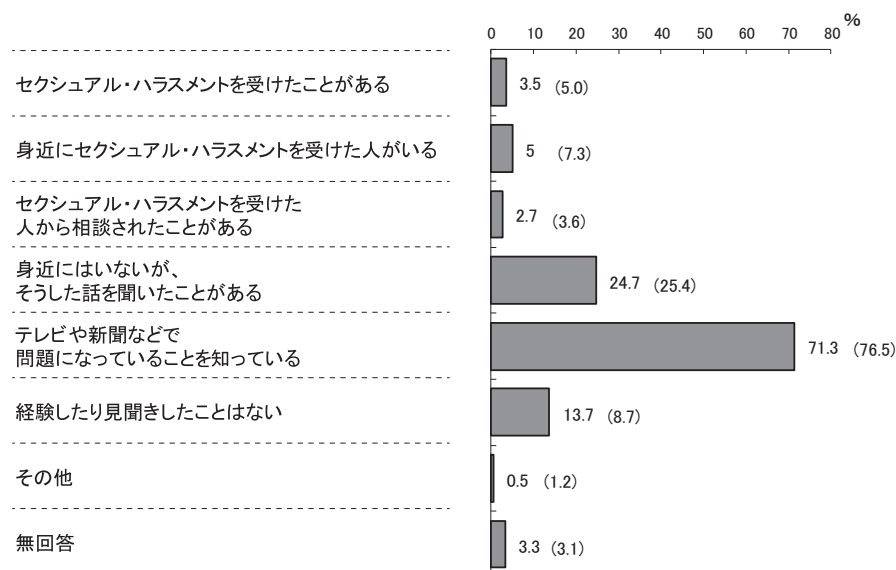
23 過去1年間にセクシュアル・ハラスメントを受けたことがある人の割合

「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と答えた人の割合は、3.5%でした。

(図 23)

23 過去1年間にセクシュアル・ハラスメント(セクハラ・性的嫌がらせ)について経験したり見聞きしたことがあるか。

図 23



※()内は2019年度調査の数値

(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査」(2021)

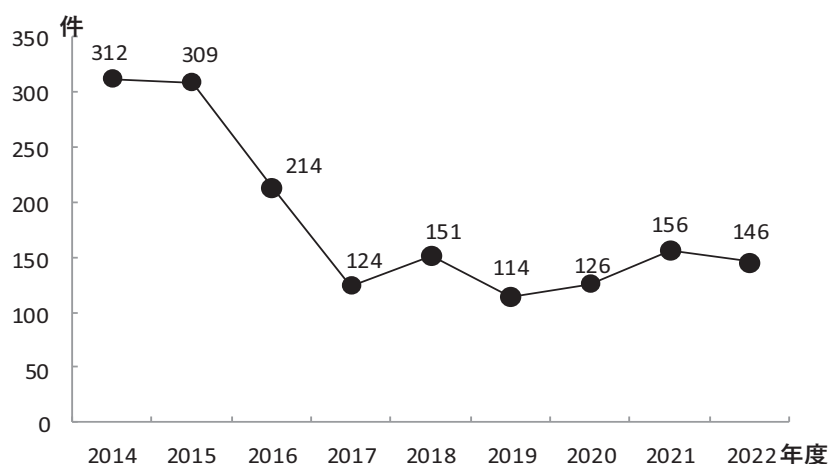
23-① 職場におけるセクシュアル・ハラスメント相談件数の推移

セクシュアル・ハラスメント等の相談件数は146件(2022年度)と、前年度から減少しました。

(図 23-①)

23-① 職場におけるセクシュアル・ハラスメント相談件数の推移

図 23-①



(資料) 静岡労働局 雇用環境・均等室調べ

24 県内の男女共同参画に関する相談窓口におけるDV相談の件数

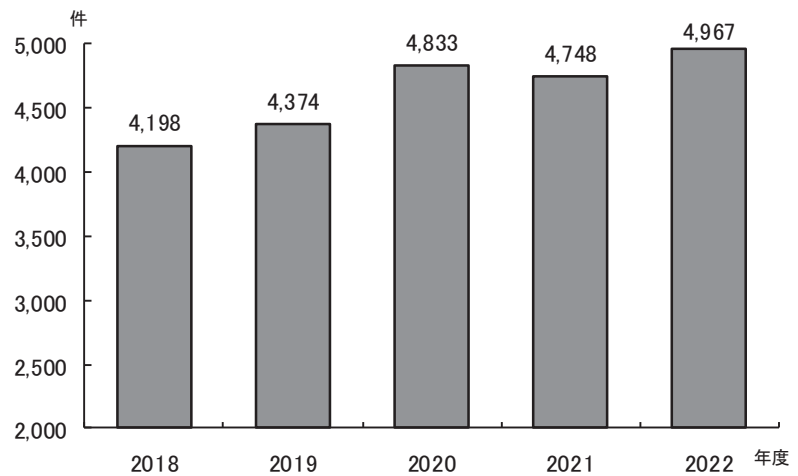
県内の男女共同参画に関する相談窓口におけるDV相談の件数は、4,967件（2022年度）と、前年度より増加しました。

（図24）

- * 件数は、県男女共同参画センターと県女性相談センター及び県内市女性相談窓口における、DVに関する相談件数の合計

24 県内の男女共同参画に関する相談窓口におけるDV相談件数

図 24



（資料）県男女共同参画課調べ

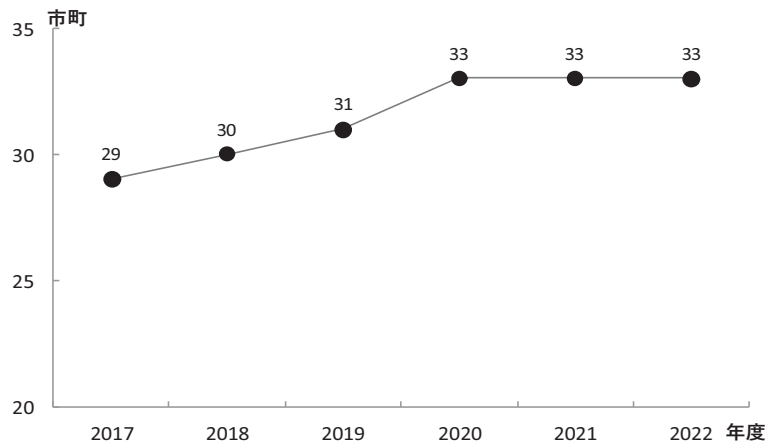
25 市町におけるDV防止ネットワーク設置市町数

市町におけるDV防止ネットワーク設置数は33市町（2022年度）と、横ばいの状況です。

（図25）

25 DV防止ネットワーク設置市町数

図 25



（資料）県子ども家庭課調べ

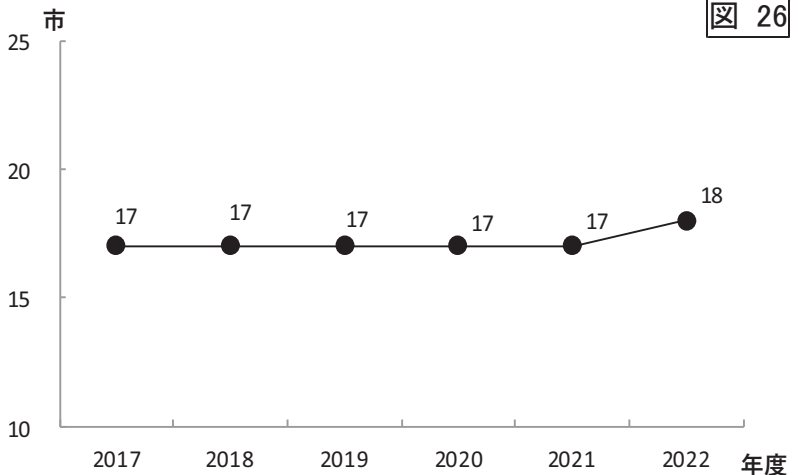
26 市における女性相談員の配置市数

市における女性相談員の設置数は18市（2022年度）と、増加しました。

（図26）

26 市における女性相談員の配置市数

図 26



（資料）県子ども家庭課調べ

大柱2 安全・安心に暮らせる社会の実現

2-3 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の視点に立った健康保持・増進

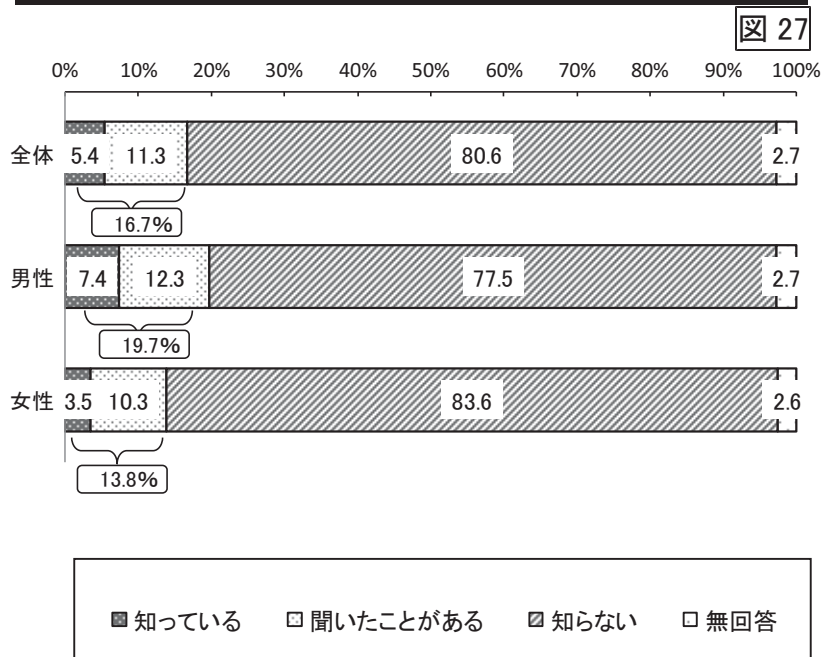
指 標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という用語を知っている(「知っている」+「聞いたことがある」)人の割合	2009年度 12.4%	2025年度 30%	2021年度 16.7%

27 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という用語を知っている(「知っている」+「聞いたことがある」)人の割合

「知っている」+「聞いたことがある」人の割合は全体が16.7%で、男性の方が知っている割合が高い状況です。

(図 27)

27 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という用語を知っている人の割合



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査」(2021)

28 乳がん検診受診率

乳がん検診の受診率は、45.9%（2022年度）と、前回調査から0.7ポイント減少しました。

（図 28）

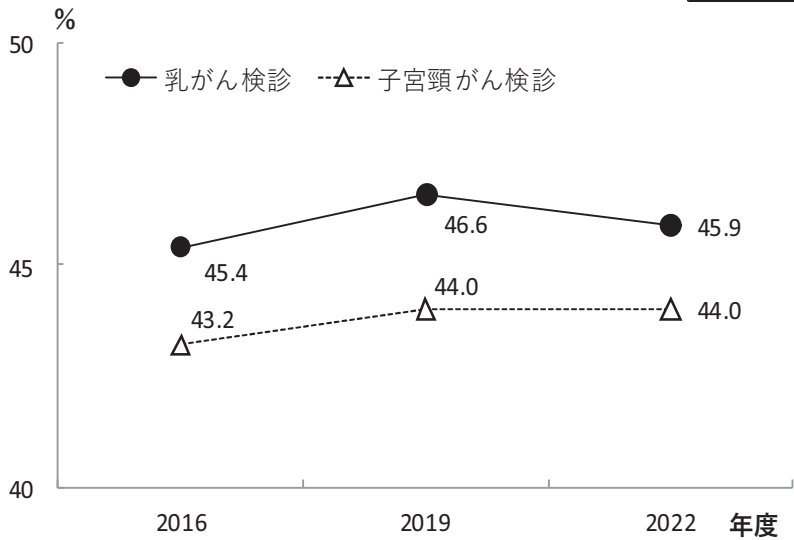
29 子宮頸がん検診受診率

子宮頸がん検診の受診率は、44.0%（2022年度）と、横ばいの状況です。

（図 29）

28・29 乳がん、子宮頸がん検診受診率

図 28・29



（資料）厚生労働省「国民生活基礎調査」

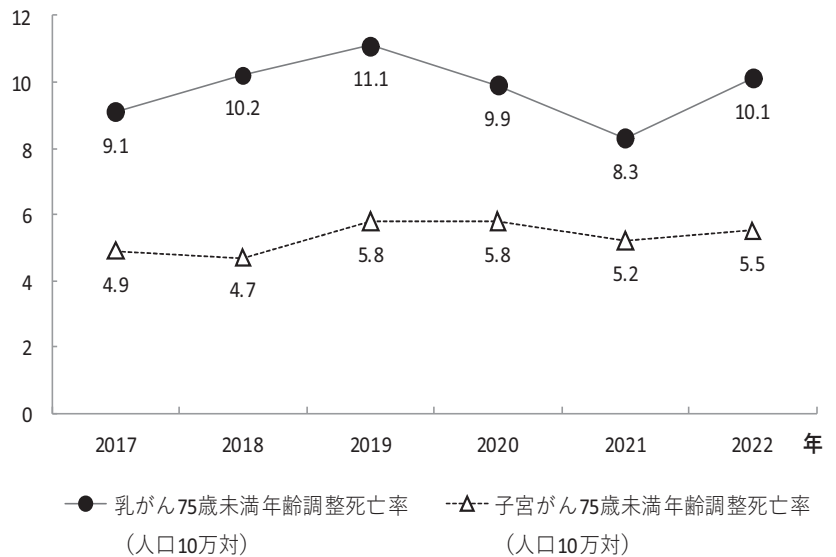
29-① 乳がん、子宮がんの死亡率

乳がんの死亡率は増加し、子宮がんの死亡率は概ね横ばいの状況です。

（図 29-①）

29-① 乳がん、子宮がん75歳未満年齢調整死亡率

図 29-①



（資料）国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

30 特定健診受診率

特定健診受診率は、58.8% (2021年度) と、前年度から上昇しました。

(図 30)

31 特定保健指導実施率

特定保健指導実施率は 26.0% (2021年度) と、横ばいの状況です。

(図 31)

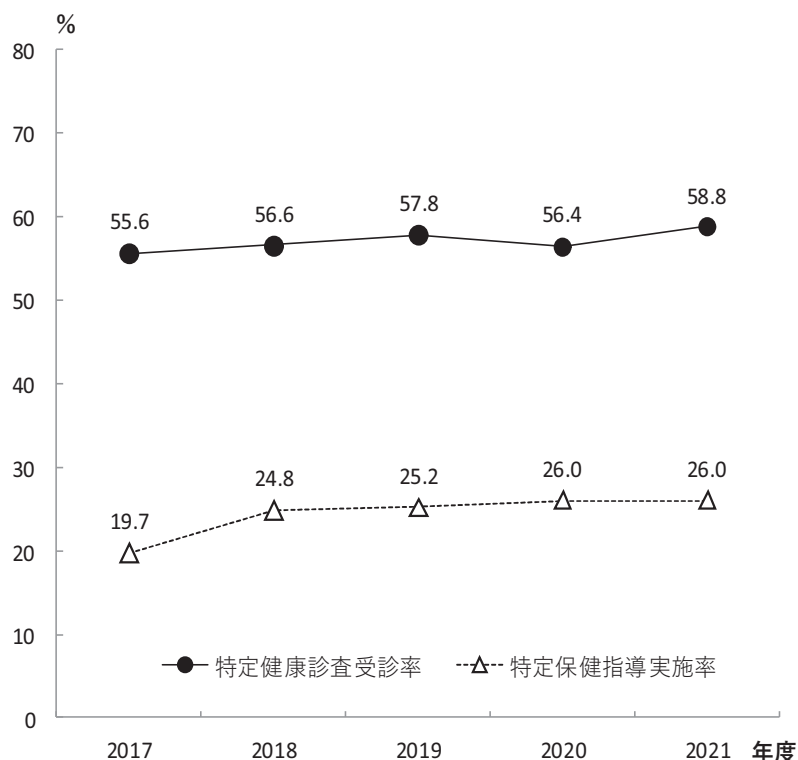
32 20歳以上の者の喫煙率(喫煙習慣のある人の割合)

20歳以上の者の喫煙率(喫煙習慣のある人の割合)は、16.4% (2022年) と、前回調査から2.2ポイント減少しました。

(図 32)

30-31 特定健診受診率、特定保健指導実施率

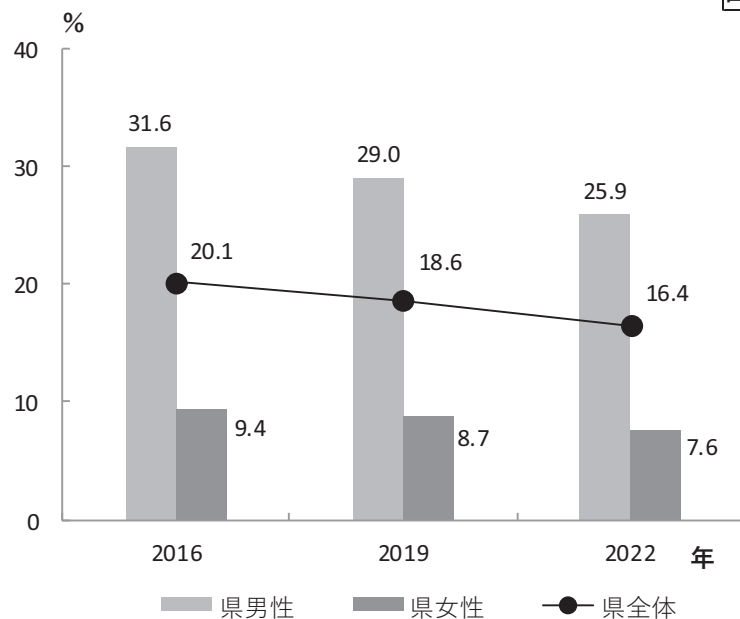
図 30-31



(資料)厚生労働省調べ

32 20歳以上の者の喫煙率(喫煙習慣のある人の割合)

図 32



(資料)厚生労働省「国民生活基礎調査」